



キャンバス釘

きゃんばすくぎ



ステンレス製



ステンレス製 白色塗装



鉄製 真鍮メッキ



鉄製

概要

キャンバス釘は、キャンバス（画布）と木枠を張り留める際に用いる釘で、「タックス」とも呼びます。

張りキャンバスは、キャンバスが木枠を側面まで覆い、縁に沿って等間隔にキャンバス釘が打ち込まれ、均等な張力で固定されています。そのため、釘を抜くことで、キャンバスを何度でも張り替えることができます。一般的な木工用の釘（市販の張りキャンバスの釘は、この形状に近い）は、円柱の先が尖ったような形状で、抜け難くなっていますが、キャンバス用の釘は釘頭の根元から角錐状のくさび形をし、長さも 13mm 程度と短めなため、比較的抜きやすく、キャンバスを傷めずに剥がすことができます（逆に抜けにくくするための長めの釘もあります）。ちなみに、キャンバス釘を抜く際は、釘抜きや、マイナスドライバーを用います。

キャンバス釘の材質は、主に鉄製やステンレス製のものがあり、鉄製のものは安価で、ステンレス製のものはサビに強くなっています。湿度などによって釘がサビると画布や木枠を傷め、画布を張り替える際に抜けなくなってしまうので、サビに強いステンレス製を使用する方が望ましいでしょう。また、最近ではステンレス製より安価でサビ難い「鉄製真鍮メッキ」仕様のものや、原料が樹脂なためサビず、なおかつ自然還元型で環境に配慮した「ECO tacks」というものも市販されています。キャンバス釘の代用品として、ガンタッカを使用することもあります。建築用ホッチキスといったようなもので、コの字型をした針（ステープル）によって画布を木枠に止めます。ただし、あくまでも代用品であり、強度や長期的保存性は、不安が残ります。ガンタッカの針にも、安価な鋼鉄製と、サビに強いステンレス製があり、幅が 12mm で、長さは、6mm、10mm、13mm（ステンレス製は 13mm のみ）と数種類あるので、長めの針を利用することで、よりしっかりと固定できます。

取り扱いの注意として、キャンバス釘の先端は、大変鋭利なため危険です。キャンバスを張る際や保管場所などには、十分注意しましょう。また、鉄製の釘は、サビが出やすいため、湿度の少ない場所で保管しましょう。

キャンバス釘は、一般的な画材店で購入できます。

ガンタッカ



使用例



釘の形状



ガンタッカーの針の形状

